

平成 26 年度名寄市公營企業會計

歳入歳出決算審査意見書

名 寄 市 監 査 委 員

名 監 査 第 11 号
平成 27 年 8 月 31 日

名 寄 市 長 加 藤 剛 士 様

名 寄 市 監 査 委 員 上 田 盛 一
名 寄 市 監 査 委 員 佐 々 木 寿

平成 26 年度名寄市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された、平成 26 年度名寄市公
営企業会計の決算について審査しましたので、別紙のとおりその意見を提出します。

目 次

1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法及び範囲	1
4	審査の結果	1

平成 26 年度名寄市病院事業会計（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）

■ 決算について

1	業務概況	2
2	予算の執行状況	2
3	経営状況	5
4	審査意見	7
5	資料	
	別表(1) 業務実績表	9
	別表(2) 比較損益計算書	11
	別表(3) 比較貸借対照表	13
	別表(4) 総収益・総費用比較表	16
	別表(5) 経営・財務分析表	17
	別表(6) 医療費未収金	21
	別表(7) 医業収益に対する費用項目の比率	22

平成 26 年度名寄市水道事業会計（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）

■ 決算について

1	業務概況	23
2	予算の執行状況	23
3	経営状況	24
4	審査意見	28
5	資料	
	別表(1) 業務の概要	29
	別表(2) 比較損益計算書	30
	別表(3) 比較貸借対照表	31
	別表(4) 要素別費用比較表	34
	別表(5) 経営・財務分析表	35

(注) 文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりです。

(1) 比率(%)：原則として、小数点以下第2位を四捨五入しています。

(2) 「0.0」：「該当数値はあるが、0.05未満のもの」を表しています。

(3) 「－」：「該当数値なし」及び「算出不能または無意味なもの」を表しています。

(4) 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値とその内容の累計値とは一致しない場合があります。

平成 26 年度名寄市公営企業会計決算審査意見

1 審査の対象

平成 26 年度 名寄市病院事業会計決算

平成 26 年度 名寄市水道事業会計決算

2 審査の期間

平成 27 年 6 月 10 日 から 同年 8 月 21 日まで

3 審査の方法及び範囲

決算審査にあたっては、審査に付された決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類が、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されているか、これらの決算諸表が各事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを確かめるとともに、会計帳簿、証拠書類及びその他関係書類を照合し、計数の審査を行い、併せて事業の経営成績及び財政状態を分析し、さらには予算の執行状況と事務処理の適否等について審査しました。

なお、現金預金及び関連する証書類については、地方自治法第 235 条の 2 の規定に基づき、別に例月現金出納検査時において実施しているので本審査の対象外としました。

4 審査の結果

審査に付された各事業会計の決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、諸計数は正確であり、予算の執行状況も適切であると認めました。

平成 26 年度名寄市病院事業会計

■ 決算について

1 業務概況

平成26年度の名寄市病院事業会計のうち、市立総合病院の業務実績をみると、年間患者数は入院96,388人、外来226,575人、合計322,963人で、病床利用率は71.8%となっています。

また、患者一人1日当たりの医業収益は、入院収益52,534円、外来収益9,366円です。

この結果、医業収益は75億148万6,484円で、1日平均患者数は入院264.0人、外来924.8人となっています。医業費用は82億4,382万8,634円で、これに医業外収益や医業外費用等を加え25億3,126万6,411円の純損失が生じています。

一方、名寄東病院においては、年間患者数は入院36,951人、外来3,986人、合計40,937人で、病床利用率96.4%となっています。

また、患者一人1日当たりの医業収益は、入院収益16,631円、外来収益4,899円です。

この結果、医業収益では6億3,430万7,756円で、1日平均患者数は入院101.2人、外来16.3人となっています。医業費用は6億6,920万2,644円で、同じく医業外の収支を加え121万5,708円の純利益を計上しました。

2 予算の執行状況

(1) 市立総合病院

ア 収益的収支の状況（税込）

収益的収入の決算額87億1,215万4,542円の内訳は、医業収益75億1,159万6,703円、医業外収益8億982万4,543円、特別利益3億9,073万3,296円で、予算に対する執行率は100.6%です。収益的支出の決算額112億4,285万1,023円の内訳は、医業費用83億9,637万893円、医業外費用2億2,950万5,813円、特別損失26億1,697万4,317円で、予算に対する執行率は98.7%です。

消費税込み決算で収益的収入87億1,215万4,542円に対し、収益的支出112億4,285万1,023円で、収益費用差引額は、△25億3,069万6,481円となり、前年度と比較すると22億2,310万525円減となっています。

【収益的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
医 業 収 益	7,464,095,000	7,511,596,703	47,501,703	100.6
医 業 外 収 益	803,895,000	809,824,543	5,929,543	100.7
特 別 利 益	390,192,000	390,733,296	541,296	100.1
合 計	8,658,182,000	8,712,154,542	53,972,542	100.6

【収益的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
医 業 費 用	8,526,253,000	8,396,370,893	129,882,107	98.5
医 業 外 費 用	232,871,000	229,505,813	3,365,187	98.6
特 別 損 失	2,627,434,000	2,616,974,317	10,459,683	99.6
合 計	11,386,558,000	11,242,851,023	143,706,977	98.7

イ 資本的収支の状況（税込）

資本的収入の決算額 8 億 639 万 6 千円の内訳は、企業債 4 億 9,820 万円、寄附金 330 万円、償還金 357 万円、出資金 2 億 7,829 万 6 千円、負担金 2,238 万 2 千円、道補助金 64 万 8 千円で、予算に対する執行率は 95.4%です。資本的支出の決算額 11 億 2,330 万 9,505 円の内訳は、建設改良費 5 億 6,610 万 5,869 円、償還金 5 億 3,269 万 3,636 円、投資 2,451 万円で予算に対する執行率は 97.8%です。

資本的収支の不足額は、3 億 1,691 万 3,505 円であり、前年度と比較すると 862 万 3,784 円（2.8%）増加しています。この不足額は過年度分損益勘定留保資金で補填されています。

【資本的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
企 業 債	539,000,000	498,200,000	△40,800,000	92.4
寄 附 金	1,900,000	3,300,000	1,400,000	173.7
償 還 金	3,570,000	3,570,000	0	100.0
出 資 金	278,296,000	278,296,000	0	100.0
負 担 金	22,776,000	22,382,000	△394,000	98.3
道 補 助 金	0	648,000	648,000	—
国庫補助金	0	0	—	—
合 計	845,542,000	806,396,000	△39,146,000	95.4

【資本的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
建設改良費	591,063,000	566,105,869	24,957,131	95.8
償 還 金	532,694,000	532,693,636	364	100.0
投 資	24,510,000	24,510,000	0	100.0
合 計	1,148,267,000	1,123,309,505	24,957,495	97.8

(2) 東病院

ア 収益的収支の状況（税込）

収益的収入の決算額 6 億 8,859 万 3,450 円の内訳は、医業収益 6 億 3,432 万 6,312 円、医業外収益 5,426 万 7,138 円で予算に対する執行率は 96.7%です。収益的支出の決算額 6 億 8,736 万 7,196 円の内訳は、医業費用 6 億 8,304 万 8,143 円、医業外費用 431 万 9,053 円で、予算に対する執行率は 98.8%です。

収益的収入 6 億 8,859 万 3,450 円に対し、収益的支出 6 億 8,736 万 7,196 円で、収益費用差引額は 122 万 6,254 円となり、前年度と比較すると 735 万 9,960 円減となっています。

【収益的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
医 業 収 益	656,790,000	634,326,312	△22,463,688	96.6
医 業 外 収 益	55,163,000	54,267,138	△895,862	98.4
特 別 利 益	0	0	—	—
合 計	711,953,000	688,593,450	△23,359,550	96.7

【収益的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
医 業 費 用	690,836,000	683,048,143	7,787,857	98.9
医 業 外 費 用	4,819,000	4,319,053	499,947	89.6
特 別 損 失	0	0	—	—
合 計	695,655,000	687,367,196	8,287,804	98.8

イ 資本的収支の状況（税込）

資本的収入の決算額5,490万円は企業債で、予算に対する執行率は100.0%です。資本的支出の決算額5,678万3,592円は建設改良費です。予算に対する執行率は99.0%です。

【資本的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
企 業 債	54,900,000	54,900,000	0	100.0
寄 附 金	0	0	—	—
償 還 金	0	0	—	—
出 資 金	0	0	—	—
負 担 金	0	0	—	—
道 補 助 金	0	0	—	—
国庫補助金	0	0	—	—
合 計	54,900,000	54,900,000	0	100.0

【資本的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
建 設 改 良 費	57,369,000	56,783,592	585,408	99.0
償 還 金	0	0	—	—
投 資	0	0	—	—
合 計	57,369,000	56,783,592	585,408	99.0

3 経営状況

(1) 市立総合病院

ア 収益

当年度病院事業収益は、医業収益 75 億 148 万 6,484 円、医業外収益 8 億 209 万 8,703 円、特別利益 3 億 9,073 万 3,296 円の計 86 億 9,431 万 8,483 円です。

医業収益 75 億 148 万 6,484 円の内訳は、入院収益 50 億 6,367 万 9,161 円、外来収益 21 億 2,218 万 1,353 円、他会計負担金 1 億 5,677 万 4 千円、その他医業収益 1 億 5,885 万 1,970 円であり、病院事業収益全体の 86.3%を占めています。

医業外収益 8 億 209 万 8,703 円の内訳は、他会計補助金 1 億 3,250 万 2 千円、他会計負担金 4 億 570 万 3 千円、その他医業外収益 4,203 万 5,292 円、補助金 8,013 万 8,090 円、受託料 1,061 万 7,706 円、負担金交付金 5,528 万 5,330 円、保育施設収益 1,180 万 7,898 円、長期前受金戻入 6,400 万 9,213 円であり、病院事業収益全体の 9.2%を占めています。

イ 費用

当年度の病院事業費用は、医業費用 82 億 4,382 万 8,634 円、医業外費用 3 億 7,323 万 5,513 円、特別損失 26 億 852 万 747 円の計 112 億 2,558 万 4,894 円です。

医業費用 82 億 4,382 万 8,634 円の内訳は、給与費 48 億 5,754 万 626 円、材料費 19 億 2,426 万 3,411 円、経費 8 億 5,117 万 5,563 円、減価償却費 5 億 6,115 万 9,158 円が主なものであり、病院事業費用全体の 73.4%を占めています。

医業外費用 3 億 7,323 万 5,513 円の内訳は、雑支出 2 億 6,108 万 82 円が主なものであり、病院事業費用全体の 3.3%を占めています。

ウ 経営比率

比 率 名	算 式	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
経営資本医業利益率 (%)	$\frac{\text{医業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ $\frac{\Delta 742,342,150}{10,939,533,245}$	△4.59	△4.29	△6.79
経営資本回転率 (回)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{経営資本}}$ $\frac{7,501,486,484}{10,939,533,245}$	0.77	0.52	0.69
医業収益医業利益率 (%)	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$ $\frac{\Delta 742,342,150}{7,501,486,484}$	△5.97	△8.29	△9.90

※上記算式において、

経営資本＝総資本－（建設仮勘定＋投資＋繰延資産）

医業利益＝医業収益－医業費用

（注）経営資本回転率は、高いほど良く、病院事業では 1.0 回転が平均となっています。

(2) 東病院

ア 収 益

当年度病院事業収益は、医業収益 6 億 3,430 万 7,756 円、医業外収益 5,413 万 6,566 円の計 6 億 8,844 万 4,322 円です。

医業収益 6 億 3,430 万 7,756 円の内訳は、入院収益 6 億 1,453 万 2,140 円、外来収益 1,952 万 9,151 円、その他医業収益 24 万 6,465 円であり、病院事業収益全体の 92.1%を占めています。

医業外収益 5,413 万 6,566 円の内訳は、他会計補助金 4,328 万 4 千円、その他医業外収益 164 万 5,852 円、補助金 31 万 5 千円、長期前受金戻入 889 万 1,714 円であり、病院事業収益全体の 7.9%を占めています。

イ 費 用

当年度の病院事業費用は、医業費用 6 億 6,920 万 2,644 円、医業外費用 1,802 万 5,970 円の計 6 億 8,722 万 8,614 円です。

医業費用 6 億 6,920 万 2,644 円の内訳は、経費 6 億 5,434 万 6,599 円、減価償却費 1,485 万 6,045 円であり、病院事業費用全体の 97.4%を占めています。

医業外費用 1,802 万 5,970 円の内訳は雑支出が主なものであり、病院事業費用全体の 2.6%を占めています。

ウ 経営比率

比 率 名	算 式	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
経営資本医業利益率 (%)	$\frac{\text{医業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ $\frac{\Delta 34,894,888}{675,116,232}$	0.65	△4.14	△5.17
経営資本回転率 (回)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{経営資本}}$ $\frac{634,307,756}{675,116,232}$	0.81	0.81	0.94
医業収益医業利益率 (%)	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$ $\frac{\Delta 34,894,888}{634,307,756}$	0.81	△5.11	△5.50

4 審査意見

当年度病院事業のうち、市立総合病院の経営状況は、収益的収入が前年度に比べ5億7,014万9,386円増の87億1,215万4,542円で、その内訳は入院・外来・その他を合わせた医業収益は前年度に比べ1億5,869万503円増の75億1,159万6,703円、医業外収益は2,469万8,354円増の8億982万4,543円、特別利益は3億8,676万529円増の3億9,073万3,296円です。

一方、収益的支出は、前年度に比べ27億9,324万9,911円増の112億4,285万1,023円で、その内訳は給与・経費等を合わせた医業費用は前年度に比べ4.3%増の83億9,637万893円、企業債利息等の医業外費用が前年度に比べ5,412万2,083円減の2億2,950万5,813円、特別損失で前年度に比べ25億42万8,904円増の26億1,697万4,317円となりました。

この結果、26年度決算（税込み）の差引額は、△25億3,069万6,481円となり、前年度と比較して22億2,310万525円の減となっています。なお、損益計算書（税抜き）では、消費税の増税と会計規則改定による各種引当金の計上の義務化により、25億3,126万6,411円の純損失を計上しました。

年間延べ患者数は、平成26年4月からの5階西病棟一時休床等の影響により、入院患者数は96,388人で5,367人の減となりましたが、外来患者数は3,414人増の226,575人、精神科の患者数は、入院患者数が545人増の17,681人で、外来患者数が912人増の26,953人となりました。

また、平成21年度からDPC対象病院として認可を受けた診断群分類包括評価払い方式(DPC/ PDPS)の機能評価係数が上がったこともあり、患者一人1日当たり平均診療収入金額は、入院が7.1%増の52,534円、外来が2.2%増の9,366円でした。収益的支出では材料費が3,659万805円の減、医師（研修医3名増）、看護師、看護助手、作業療法士、診療放射線技師及び診療情報管理士の増により給与費が1億2,368万3,322円増、収益的収入で、入院収益が7,414万4,508円増、外来収益が7,670万1,304円増となりましたが、収益的支出で、その他特別損失に各種引当金等26億419万136円を計上したことから、経営状況の成否の判断指数となる総収支比率は、18.86ポイント減の77.45%となりました。

なお、平成26年度末の累積欠損金は23億4,117万1,240円増の52億5,236万1,456円となり、事業体の経営状況が健全な状態にあるかどうかを判断する医業収益に対する累積欠損金の割合を示す累積欠損金比率は30.39ポイント増の70.02%でした。資金不足額は△8億9,748万4,672円、資金不足比率は△11.96%になっています。

医療費未収金（患者負担分）〔別表（6）〕は、収入率が平成26年度は前年度と比較して現年度分で0.63%向上、過年度分は2.01%減少していますが、負担の公平性と歳入の確保の観点から、今後とも未収防止のため未収金回収体制の充実が重要と考えます。

北海道のモデル事業として開始した地域医療支援室事業では、医師派遣事業のほか機能回復訓練事業（理学療法士派遣）、地域保健検診事業、病診連携、巡回診療3地区、健康づくり市民公開講座、学術講演会等、地域の保健医療の向上に寄与されています。

平成26年5月に精神科病棟改築、6月に屋上ヘリポートの供用開始で、地域の基幹病院としての重要度も高まり、平成27年2月からは地域包括ケア病棟の運用が開始され、急性期医療から在宅への移行支援も実施され、道北第三次保健医療福祉圏の地方センター病院として引き続き、高度・専門医療に対応できる医療機能を充実し、サテライト診療や地方への専門医師の派遣等地域医療支援事業への取り組み等、地方・地域センター病院としての重要な役割がより一層期待されます。

名寄市病院事業長期計画（平成24～28年度）の運営基本計画に基づいた取り組みを進める中で、経営改善を図り、より一層の患者サービスに努め、地域医療の中核を担う公立病院として、

安定的かつ自立的な経営の下で信頼性の高い良質な医療を提供されることを強く望むものです。

次に、名寄東病院の経営状況は、収益的収入が前年度に比べ680万1,674円減の6億8,859万3,450円で、その内訳は入院・外来・その他を合わせた医業収益で前年度比1.5%減の6億3,432万6,312円、他会計負担金等の医業外収益は5,426万7,138円です。

収益的支出は、前年度に比べ55万8,286円増の6億8,736万7,196円で、その内訳は経費等の医業費用は前年度比0.5%減の6億8,304万8,143円、企業債利息等の医業外費用が431万9,053円です。

この結果、26年度決算（税込み）の収益費用差引額は、122万6,254円となり、前年度と比較すると735万9,960円の減となりました。なお、損益計算書（税抜き）では121万5,708円の純利益を計上しました。経営状況の成否の判断指数となる総収支比率は、1.07ポイント減の100.18%となりました。資金不足額は、△2億1,136万3,065円、資金不足比率は△33.32%になっています。

年間延べ患者数は40,937人で前年度比401人（1.0%）の減、名寄東病院の目標に掲げている「地域に開かれた病院」に向け、平成22年10月から開始した気軽に受診できるミニ健診事業等により、外来患者数は前年比180人（4.7%）増の3,986人となりました。入院患者数は、581人（1.5%）減の36,951人でした。病床利用率は、前年度比1.5ポイント減の96.4%となりました。

平成26年度は医療スタッフ総数93名の体制で、高齢社会に対応した長期療養者への医療サービスを提供しており、地域にとって欠かすことのできない重要な役割を担っています。

今後も、地域により一層密着した施設として、市内の医療機関はもとより、近隣医療機関との診療情報の連携を密にし、効率的な運営が図られますよう強く期待します。

別表(1)

業 務 実 績 表

市立総合病院 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1 患者数

ア 年間患者数

区 分	24年度 A (人)	25年度 B (人)	対前年度比 B/A (%)	26年度 C (人)	対前年度比 C/B (%)
入 院	102,619	101,755	99.2	96,388	94.7
一 般 病 床	85,590	84,619	98.9	78,707	93.0
精 神 病 床	17,029	17,136	100.6	17,681	103.2
感 染 症 病 床	0	0	—	0	—
外 来	216,907	223,161	102.9	226,575	101.5
一 般 科	191,247	197,120	103.1	199,622	101.3
精 神 科	25,660	26,041	101.5	26,953	103.5

イ 1日平均患者数

区 分	24年度 A (人)	25年度 B (人)	対前年度比 B/A (%)	26年度 C (人)	対前年度比 C/B (%)
入 院	281.2	278.7	99.1	264.0	94.7
一 般 病 床	234.5	231.8	98.8	215.6	93.0
精 神 病 床	46.7	46.9	100.4	48.4	103.2
感 染 症 病 床	0.0	0.0	—	0.0	—
外 来	885.3	910.9	102.9	924.8	101.5
一 般 科	780.6	804.6	103.1	814.8	101.3
精 神 科	104.7	106.3	101.5	110.0	103.5

2 患者一人1日当たり平均診療収入金額

区 分	24年度 A (円)	25年度 B (円)	対前年度比 B/A (%)	26年度 C (円)	対前年度比 C/B (%)
入 院	47,713	49,035	102.8	52,534	107.1
外 来	8,742	9,166	104.9	9,366	102.2

3 病床利用率

区 分	24年度 A (%)	25年度 B (%)	対前年度 B-A	26年度 C (%)	対前年度 C-B
入 院	59.9	59.4	-0.5	71.8	+12.4
一 般 病 床 (300床)	78.2	77.3	-0.9	71.9	-5.4
精 神 病 床 (55床)	28.3	28.5	+0.2	75.6	+47.1
感 染 症 病 床 (4床)	0.0	0.0	—	0.0	—

東 病 院 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

1 患者数

ア 年間患者数

区 分	24 年度 A (人)	25 年度 B (人)	対前年度比 B/A (%)	26 年度 C (人)	対前年度比 C/B (%)
入 院	37,382	37,532	100.4	36,951	98.5
医療療養病床	37,382	37,532	100.4	36,951	98.5
外 来	3,339	3,806	114.0	3,986	104.7
内 科	3,178	3,608	113.5	3,777	104.7
脳神経外科	—	31	—	25	80.6
リハビリ科	161	167	103.7	184	110.2

イ 1日平均患者数

区 分	24 年度 A (人)	25 年度 B (人)	対前年度比 B/A (%)	26 年度 C (人)	対前年度比 C/B (%)
入 院	102.4	102.8	100.4	101.2	98.4
医療療養病床	102.4	102.8	100.4	101.2	98.4
外 来	13.7	15.5	113.1	16.3	105.2
内 科	13.0	14.7	113.1	15.4	104.8
脳神経外科	—	0.1	—	0.1	100.0
リハビリ科	0.7	0.7	100.0	0.8	114.3

2 患者一人1日当たり平均診療収入金額

区 分	24 年度 A (円)	25 年度 B (円)	対前年度比 B/A (%)	26 年度 C (円)	対前年度比 C/B (%)
入 院	16,299	16,663	102.2	16,631	99.8
外 来	4,743	4,830	101.8	4,899	101.4

3 病床利用率

区 分	24 年度 A (%)	25 年度 B (%)	対前年度 B-A (%)	26 年度 C (%)	対前年度 C-B (%)
医療療養病床 (105 床)	97.5	97.9	+0.4	96.4	-1.5

別表(2)

比較損益計算書(税抜)

(単位:円・%)

科 目	平成 25 年 度		平成 26 年 度						
	合 計		合 計			市 立 総 合 病 院		東 病 院	
	金 額	対医業 収益比	金 額	対医業 収益比	対前年差引額	金 額	対医業 収益比	金 額	対医業 収益比
医 業 収 益 A	7,990,201,685	100.0	8,135,794,240	100.0	145,592,555	7,501,486,484	100.0	634,307,756	100.0
入 院 収 益	5,614,916,154	70.3	5,678,211,301	69.8	63,295,147	5,063,679,161	67.5	614,532,140	96.9
外 来 収 益	2,063,862,624	25.8	2,141,710,504	26.3	77,847,880	2,122,181,353	28.3	19,529,151	3.1
他 会 計 負 担 金	143,950,000	1.8	156,774,000	1.9	12,824,000	156,774,000	2.1	0	0.0
そ の 他 医 業 収 益	167,472,907	2.1	159,098,435	2.0	△ 8,374,472	158,851,970	2.1	246,465	0.0
医 業 費 用 B	8,632,419,702	108.0	8,913,031,278	109.6	280,611,576	8,243,828,634	109.9	669,202,644	105.5
給 与 費	4,733,857,304	59.2	4,857,540,626	59.7	123,683,322	4,857,540,626	64.8	0	0.0
材 料 費	1,960,854,216	24.5	1,924,263,411	23.7	△ 36,590,805	1,924,263,411	25.7	0	0.0
経 費	1,476,605,941	18.5	1,505,522,162	18.5	28,916,221	851,175,563	11.3	654,346,599	103.2
減 価 償 却 費	394,945,137	4.9	576,015,203	7.1	181,070,066	561,159,158	7.5	14,856,045	2.3
資 産 減 耗 費	30,726,523	0.4	10,613,719	0.1	△ 20,112,804	10,613,719	0.1	0	0.0
交 際 費	2,036,853	0.0	2,084,760	0.0	47,907	2,084,760	0.0	0	0.0
研 究 研 修 費	33,393,728	0.4	36,991,397	0.5	3,597,669	36,991,397	0.5	0	0.0
医 業 利 益 A-B=C	△ 642,218,017		△ 777,237,038		△ 135,019,021	△ 742,342,150		△ 34,894,888	
医 業 外 収 益 D	834,294,079	10.4	856,235,269	10.5	21,941,190	802,098,703	10.7	54,136,566	8.5
受 取 利 息 配 当 金	181	0.0	174	0.0	△ 7	174	0.0	0	0.0
他 会 計 補 助 金	179,980,000	2.3	175,786,000	2.2	△ 4,194,000	132,502,000	1.8	43,284,000	6.8
他 会 計 負 担 金	464,276,000	5.8	405,703,000	5.0	△ 58,573,000	405,703,000	5.4	0	0.0
そ の 他 医 業 外 収 益	35,823,389	0.4	43,681,144	0.5	7,857,755	42,035,292	0.6	1,645,852	0.3
補 助 金	73,255,290	0.9	80,453,090	1.0	7,197,800	80,138,090	1.1	315,000	0.0
受 託 料	11,473,753	0.1	10,617,706	0.1	△ 856,047	10,617,706	0.1	0	0.0
負 担 金 交 付 金	53,893,120	0.7	55,285,330	0.7	1,392,210	55,285,330	0.7	0	0.0
保 育 施 設 収 益	15,592,346	0.2	11,807,898	0.1	△ 3,784,448	11,807,898	0.2	0	0.0
長 期 前 受 金 戻 入			72,900,927	0.9	72,900,927	64,009,213	0.9	8,891,714	1.4

医 業 外 費 用 E	382,304,497	4.8	391,261,483	4.8	8,956,986	373,235,513	5.0	18,025,970	2.8
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	71,330,736	0.9	82,237,476	1.0	10,906,740	82,218,107	1.1	19,369	0.0
保 育 施 設 費	30,080,864	0.4	29,937,324	0.4	△ 143,540	29,937,324	0.4	0	0.0
雑 支 出	280,892,897	3.5	279,086,683	3.4	△ 1,806,214	261,080,082	3.5	18,006,601	2.8
医 業 外 利 益 D-E= F	451,989,582		464,973,786		12,984,204	428,863,190		36,110,596	
経 常 利 益 C+F= G	△ 190,228,435		△ 312,263,252		△ 122,034,817	△ 313,478,960		1,215,708	
特 別 利 益 H	3,972,767	0.0	390,733,296	4.8	386,760,529	390,733,296	5.2	0	0.0
過 年 度 損 益 修 正 益	3,972,767	0.0	89,250,870	1.1	85,278,103	89,250,870	1.2	0	0.0
そ の 他 特 別 利 益	0	0.0	301,482,426	3.7	301,482,426	301,482,426	4.0	0	0.0
特 別 損 失 I	116,522,913	1.5	2,608,520,747	32.1	2,491,997,834	2,608,520,747	34.8	0	0.0
過 年 度 損 益 修 正 損	116,072,913	1.5	4,330,611	0.1	△ 111,742,302	4,330,611	0.1	0	0.0
そ の 他 特 別 損 失	450,000	0.0	2,604,190,136	32.0	2,603,740,136	2,604,190,136	34.7	0	0.0
当 年 度 純 利 益 G+H-I= J	△ 302,778,581		△ 2,530,050,703		△ 2,227,272,122	△ 2,531,266,411		1,215,708	

比較貸借対照表

(単位:円・%)

科 目		借		方						
		平成25年度		平成26年度						
		合 計		合 計			市立総合病院		東 病 院	
		金 額	構成比	金 額	構成比	対前年差引額	金 額	構成比	金 額	構成比
資 産 の 部	固 定 資 産	10,933,970,168	72.5	9,986,095,527	85.4	△ 947,874,641	9,522,446,360	86.4	463,649,167	68.7
	有 形 固 定 資 産	10,848,512,168	71.9	9,857,134,751	84.3	△ 991,377,417	9,420,221,960	85.5	436,912,791	64.7
	土 地	773,949,871	5.1	776,808,118	6.6	2,858,247	664,808,118	6.0	112,000,000	16.6
	建 物	8,185,086,479	54.3	7,564,118,548	64.7	△ 620,967,931	7,290,667,761	66.2	273,450,787	40.5
	構 築 物	80,819,283	0.5	212,449,820	1.8	131,630,537	212,449,820	1.9	0	0.0
	機 器 備 品	1,798,832,519	11.9	1,239,759,863	10.6	△ 559,072,656	1,188,310,738	10.8	51,449,125	7.6
	車 両	5,384,016	0.0	3,976,800	0.0	△ 1,407,216	3,963,921	0.0	12,879	0.0
	リ ー ス 資 産			57,321,602	0.5	57,321,602	57,321,602	0.5	0	0.0
	建 設 仮 勘 定	4,440,000	0.0	2,700,000	0.0	△ 1,740,000	2,700,000	0.0	0	0.0
	無 形 固 定 資 産			51,122,776	0.4	51,122,776	24,386,400	0.2	26,736,376	4.0
	投 資	85,458,000	0.6	77,838,000	0.7	△ 7,620,000	77,838,000	0.7	0	0.0
	長 期 貸 付 金	85,458,000	0.6	77,838,000	0.7	△ 7,620,000	77,838,000	0.7	0	0.0
	流 動 資 産	4,148,353,016	27.5	1,709,091,950	14.6	△ 2,439,261,066	1,497,624,885	13.6	211,467,065	31.3
現 金 及 び 預 金	2,538,846,116	16.8	318,414,072	2.7	△ 2,220,432,044	215,119,894	2.0	103,294,178	15.3	
未 収 金	1,572,492,739	10.4	1,360,024,374	11.6	△ 212,468,365	1,251,851,487	11.4	108,172,887	16.0	
有 価 証 券	500,000	0.0	500,000	0.0	0	500,000	0.0	0	0.0	
貯 蔵 品	36,514,161	0.2	30,153,504	0.3	△ 6,360,657	30,153,504	0.3	0	0.0	
資 産 合 計	15,082,323,184	100.0	11,695,187,477	100.0	△ 3,387,135,707	11,020,071,245	100.0	675,116,232	100.0	

		貸 方								
科 目		平成 25 年 度		平成 26 年 度						
		合 計		合 計		市 立 総 合 病 院		東 病 院		
		金 額	構成比	金 額	構成比	対前年差引額	金 額	構成比	金 額	構成比
負 債 の 部	固 定 負 債	14,500,000	0.1	8,080,398,970	69.1	8,065,898,970	8,025,498,970	72.8	54,900,000	8.1
	企 業 債	14,500,000	0.1	6,456,873,527	55.2	6,442,373,527	6,401,973,527	58.1	54,900,000	8.1
	建設改良の財源に ホテスナめの企業債			6,326,273,527	54.1	6,326,273,527	6,271,373,527	56.9	54,900,000	8.1
	その他の企業債			130,600,000	1.1	130,600,000	130,600,000	1.2	0	0.0
	リ ー ス 債 務			17,034,443	0.1	17,034,443	17,034,443	0.2	0	0.0
	引 当 金			1,606,491,000	13.7	1,606,491,000	1,606,491,000	14.6	0	0.0
	退職給付引当金			1,606,491,000	13.7	1,606,491,000	1,606,491,000	14.6	0	0.0
	その他の引当金			0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
	流 動 負 債	2,950,105,452	19.6	1,458,637,835	12.5	△ 1,491,467,617	1,458,533,835	13.2	104,000	0.0
	一 時 借 入 金	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
	企 業 債			718,547,971	6.1	718,547,971	718,547,971	6.5	0	0.0
	建設改良の財源に ホテスナめの企業債			718,547,971	6.1	718,547,971	718,547,971	6.5	0	0.0
	その他の企業債			0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
	リ ー ス 債 務			16,880,690	0.1	16,880,690	16,880,690	0.2	0	0.0
	未 払 金	2,919,647,444	19.4	442,402,810	3.8	△ 2,477,244,634	442,298,810	4.0	104,000	0.0
	引 当 金			248,002,471	2.1	248,002,471	248,002,471	2.3	0	0.0
	賞 与 引 当 金			210,584,267	1.8	210,584,267	210,584,267	1.9	0	0.0
	法定福利費引当			37,418,204	0.3	37,418,204	37,418,204	0.3	0	0.0
	預 り 金	30,430,048	0.2	32,803,893	0.3	2,373,845	32,803,893	0.3	0	0.0
	そ の 他	27,960	0.0			△ 27,960				
繰 延 収 益			1,545,369,972	13.2	1,545,369,972	1,273,961,139	11.6	271,408,833	40.2	
長 期 前 受 金			1,545,369,972	13.2	1,545,369,972	1,273,961,139	11.6	271,408,833	40.2	
受 贈 財 産 評 価 額			268,960,845	2.3	268,960,845	1,436,800	0.0	267,524,045	39.6	
寄 附 金			12,192,437	0.1	12,192,437	12,192,437	0.1	0	0.0	
補 助 金			837,683,210	7.2	837,683,210	833,798,422	7.6	3,884,788	0.6	
他 会 計 負 担 金			426,533,480	3.6	426,533,480	426,533,480	3.9	0	0.0	
建 設 仮 勘 定			0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
負 債 合 計	2,964,605,452	19.7	11,084,406,777	94.8	8,119,801,325	10,757,993,944	97.6	326,412,833	48.3	

別表(4)

総収益・総費用比較表

(単位:円・%)

科 目	平成25年度		平成26年度							
	合計		合計			市立病院		東病院		
	金額	対総収益比	金額	対総収益比	対前年差引額	金額	対総収益比	金額	対総収益比	
総 収 益	8,828,468,531	100.0	9,382,762,805	100.0	554,294,274	8,694,318,483	100.0	688,444,322	100.0	
医 業 収 益	7,990,201,685	90.5	8,135,794,240	86.7	145,592,555	7,501,486,484	86.3	634,307,756	92.1	
医 業 外 収 益	834,294,079	9.5	856,235,269	9.1	21,941,190	802,098,703	9.2	54,136,566	7.9	
特 別 利 益	3,972,767	0.0	390,733,296	4.2	386,760,529	390,733,296	4.5	0	0.0	
総 費 用	9,131,247,112	103.4	11,912,813,508	127.0	2,781,566,396	11,225,584,894	129.1	687,228,614	99.8	
給 与 費	4,733,857,304	[51.8]	4,857,540,626	[40.8]	123,683,322	4,857,540,626	[43.3]	0	[0.0]	
材 料 費	1,960,854,216	22.2	1,924,263,411	20.5	△ 36,590,805	1,924,263,411	22.1	0	0.0	
経 費	1,476,605,941	16.7	1,505,522,162	16.0	28,916,221	851,175,563	9.8	654,346,599	95.0	
減 価 償 却 費	394,945,137	4.5	576,015,203	6.1	181,070,066	561,159,158	6.5	14,856,045	2.2	
資 産 減 耗 費	30,726,523	0.3	10,613,719	0.1	△ 20,112,804	10,613,719	0.1	0	0.0	
交 際 費	2,036,853	0.0	2,084,760	0.0	47,907	2,084,760	0.0	0	0.0	
研 究 研 修 費	33,393,728	0.4	36,991,397	0.4	3,597,669	36,991,397	0.4	0	0.0	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費 (うち一時借入金利息)	71,330,736 (0)	0.8	82,237,476 (583,752)	0.9	10,906,740 583,752	82,218,107 (564,383)	0.9	19,369 (19,369)	0.0	
そ の 他	310,973,761	3.5	309,024,007	3.3	△ 1,949,754	291,017,406	3.3	18,006,601	2.6	
特 別 損 失	116,522,913	1.3	2,608,520,747	27.8	2,491,997,834	2,608,520,747	30.0	0	0.0	
当 年 度 純 利 益	△ 302,778,581	△ 3.4	△ 2,530,050,703	△ 27.0	△ 2,227,272,122	△ 2,531,266,411	△ 29.1	1,215,708	0.2	

(注) 対総収益比欄の[]内の数値は、給与費の総費用に占める割合です。

経営・財務分析表

1. 収益率 (収益と費用とを対比して病院事業経営の成果を表すもので、その比率は大きいほど良好である。)

(1) 総収支比率 (%)

$$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$$

総収支比率は、総収益を上げるのに、どれだけの費用がかかったかの割合を示すもので、この率が100%未満であれば純損失を生じており、経営の安定が損なわれていることを示す。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	100.24	96.31	77.45
東 病 院	101.43	101.25	100.18

(2) 経常収支比率 (%)

$$\frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$$

経常収支比率は、経常費用(医業費用+医業外費用)が経常収益(医業収益+医業外収益)によってどの程度賄われているかを示す指標。100%未満であれば経常損失が生じている。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	101.01	97.61	96.36
東 病 院	101.57	101.25	100.18

(3) 医業収支比率 (%)

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

医業収支比率は、医業事業によってもたらされた医業収益と、それに要した医業費用とを対比して医業事業の能率効果測定を判断するもので、経営の良否がうかがえる。この比率は高いほど良好である。通常100%以上あればよい。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	94.37	92.34	91.00
東 病 院	100.82	95.14	94.79

2. 財務比率 (貸借対照表における資産と負債又は資本との相互関係を表すものである。)

(1) 固定比率 (%)

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100 \quad \text{※注1}$$

固定比率は、自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。病院事業の場合は、建設投資のための財源として企業債に依存する割合が高いため、必然的にこの比率が高くなっている。固定比率が100%を超えていても、固定長期適合率(固定資産対長期資本比率)が100%を下回っていれば、長期的な資本の枠内の投資が行われているということで、必ずしも不健全な状態とはいえないとされている。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	206.25	240.53	619.94
東 病 院	76.10	74.56	74.77

(2) 固定資産対長期資本比率(%) $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ ※注1

固定資産の調達に、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から少なくとも100%以下であることが望ましく、100%を超えた場合は、固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	88.28	91.21	99.59
東 病 院	76.10	74.56	68.69

(3) 流動比率 (%) $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$

流動比率は、一年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	317.18	133.78	102.68
東 病 院	46,745.80	277,762.21	203,333.72

(4) 当座(酸性試験)比率 (%) $\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$ ※注1

流動資産のうち現金預金と容易に現金化する未収金が、流動負債100%以上に確保されているか否かを示すもので、当座の支払能力の有無を判断する目安となる。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	309.59	132.52	100.58
東 病 院	46,745.80	277,762.21	203,333.72

3. 回転率、回転期間 (回転率は、企業の活動性を示すもので、これらの比率は大きいほど資本が効率的に使われていることを表すものである。)

(1) 自己資本回転率 (回) $\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) / 2}$ ※注1 ※注2

自己資本回転率は、自己資本に対する医業収益の割合であり、期間中に自己資本の何倍の医業収益があったかを示すものである。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	1.97	1.80	4.97
東 病 院	0.82	0.82	1.02

(2) 固定資産回転率 (回) $\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2}$ ※注2

固定資産回転率は、企業の取引量である医業収益と設備資産に投下された資本の関係で、設備利用の適否をみるためのものである。回転率が高い場合は、施設が有効に稼働していることを示す。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	0.91	0.81	0.77
東 病 院	1.06	1.09	1.43

(3) 流動資産回転率（回） $\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$ ※注2

流動資産回転率は、現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、これらの回転率が高くなれば、それに応じて高くなるものである。高いほど運用形態がよい。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	4.86	2.68	2.76
東 病 院	3.48	3.32	3.07

(4) 未収金回転率（回） $\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) / 2}$ ※注2

未収金回転率は未収金の回収速度を示す。高ければ回収が早く、未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。これが6回とすれば、未収金はほぼ2ヵ月で回収されていることを示す。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	5.42	5.14	5.54
東 病 院	5.75	5.94	5.69

(5) 当年度減価償却率（％） $\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$

当年度減価償却率は、減価償却費を固定資産の帳簿価格と比較することによって、いかなる減価償却政策をとっているかを明らかにするもので、固定資産に投下された資本の回収状況をみるためのものである。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	5.07	3.88	6.01
東 病 院	1.86	1.50	4.05

4. 構成比率（構成部分の全体に対する関係を表すものである。）

(1) 固定資産構成比率（％） $\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$

固定資産構成比率は、資産合計（固定資産+流動資産+繰延資産）の固定資産の割合を表すものである。減価償却費に近い額が固定資産取得のために借り入れた企業債の償還に充てられることにより、そのまま企業内部へ資金が留保される率も低く、固定資産構成比率は高くなっている。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	83.76	72.38	86.41
東 病 院	76.06	74.56	68.68

(2) 固定負債構成比率（％） $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$ ※注1

固定負債構成比率は、総資本中、固定負債が占める割合を示す。事業の負担構成の適正化を判断するもので、比率は小さいほど良好である。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	54.27	49.26	72.83
東 病 院	0.00	0.00	8.13

(3) 自己資本構成比率 (%) $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$ ※注1

資本構成の安定度をみる指標。施設建設費の財源の多くを企業債により調達しているため、この比率は低くなる傾向にあるが、事業経営の安定化を図るためには、この比率を上げていくことが重要である。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	40.61	30.09	13.94
東 病 院	99.95	99.99	91.85

5. その他

(1) 累積欠損金比率 (%) $\frac{\text{累積欠損金}}{\text{医業収益}} \times 100$

企業活動において、各事業年度に欠損金が生じた場合、剰余金等により補填するわけであるが、それでも補填できない欠損金については、翌年度以降に繰り越すことになる。これら累積された赤字額を累積欠損金という。累積欠損金には減価償却費等の実際に現金支出がない費用も含まれているため、直接経営に必要な資金不足を表すものではないが、累積欠損金比率が高いということは、その企業の一年間の医業収益を上回る累積欠損金が存在するということであり、企業経営悪化の状況をみるうえで、不良債務比率と併せて利用される。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	36.65	39.63	70.02
東 病 院	△ 29.84	△ 30.30	△ 31.53

(2) 資金不足比率 (%) $\frac{\text{(流動負債+建設改良等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高-流動資産)} - \text{解消可能資金不足額}}{\text{事業規模 (営業収益-受託工事収益)}} \times 100$ ※注1

資金不足比率は、資金不足額を事業規模で除した割合。流動負債とは支払期日が1年以内に訪れる負債のことで、流動資産とは1年以内に換金が可能な預金・未収金等である。この比率が経営健全化基準である20%以上になると経営健全化計画を定めなければならない。

年 度	24年度	25年度	26年度
市立総合病院	△ 14.64	△ 13.37	△ 11.96
東 病 院	△ 29.64	△ 31.35	△ 33.32

※注1 平成26年度の地方公営企業会計基準の改正に伴い、経営分析に係る指標を変更しました。ただし、24年度、25年度は会計基準見直し前の指標で算出しています。

※注2 平成26年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳した数字で算出しています。

別表 (6)

医療費未収金 (患者負担分)

(市立総合病院)

区 分 \ 年 度	平 成 25 年 度		平 成 26 年 度	
	現 年 度	過 年 度	現 年 度	過 年 度
調 定 額 (円)	794,681,432	99,151,458	790,085,368	89,179,339
収 入 済 額 (円)	737,144,879	60,680,589	737,851,988	52,780,932
収 入 率 (%)	92.76	61.20	93.39	59.19
収 入 未 済 額 (円)	57,536,553	38,470,869	52,233,380	36,398,407
不 納 欠 損 額 (円)	0	4,016,800	0	2,832,910

(東病院)

区 分 \ 年 度	平 成 25 年 度		平 成 26 年 度	
	現 年 度	過 年 度	現 年 度	過 年 度
調 定 額 (円)	48,714,635	3,995,300	53,029,105	4,189,680
収 入 済 額 (円)	44,825,825	3,971,300	48,885,165	4,103,390
収 入 率 (%)	92.02	99.4	92.19	97.94
収 入 未 済 額 (円)	3,888,810	24,000	4,143,940	86,290
不 納 欠 損 額 (円)	0	0	0	0

別表 (7)

医業収益に対する費用項目の比率

(市立総合病院分)

(単位・%)

区 分	平成 25 年 度		平成 26 年 度	
	5 病院平均値	名 寄 市	5 病院平均値	名 寄 市
総 費 用	110.5	115.0	138.9	149.6
医業費用	105.8	108.3	111.6	109.9
職員給与費	48.6	57.6	51.9	59.2
材 料 費	26.9	26.7	27.1	25.7
減価償却費	7.5	5.3	9.2	7.5
その他医業費用	22.8	18.7	23.3	17.6
医業外費用	4.4	5.1	5.5	5.0
支払利息	1.5	1.0	1.5	1.1
その他医業外費用	1.8	4.1	2.8	3.9
特別損失	0.3	1.6	21.8	34.8
純 利 益	△1.4	△4.2	△27.4	△33.7

《 5 病院平均値 》

類似規模の 5 市立病院（岩見沢市、苫小牧市、稚内市、江別市、砂川市）平均値

《 職員給与費 》

本表の職員給与費比率は、(退職手当費、児童手当及び報酬は含まない) / 医業収益で算出
し、別表(4)の給与費比率は (退職手当費、児童手当及び報酬を含む) / 総収益で算出しています。